

モリト株式会社

## 2025年11月期 第1四半期決算概要

---

東証プライム 証券コード9837

2025年4月

あたりまえに、新しさ。 MORITO

- 1 会社概要
- 2 2025年11月期1Q 業績概要
- 3 2025年11月期1Q セグメント情報
- 4 事業トピックス
- 5 株主還元策
- 6 (参考資料)第8次中期経営計画

# 1

## 会社概要

---

# モリトグループの価値観

---

## 創業理念

**積極・堅実**

## 経営理念

**パーツでつなぐ、あなたとつながる、未来につなげる**

## 経営ビジョン

**存在価値を創造する、  
あたらしい「モリトグループ」の実現**

# 会社概要

## ●1908年創業

- ・大阪にてハトメ・ホックの仲買商として開業
- ・その後、マジックテープ®など服飾の付属品、自動車内装部品の販売を中心に拡大

## ●製造機能も併せ持つメーカー的機能を持つ商社

- ・企画・開発から製造に加え、卸・流通までを一貫して手掛ける専門商社
- ・世界に23拠点展開

## ●3つの事業を展開

- ・アパレル関連、プロダクト関連、輸送関連が事業の柱
- ・自社生産30%、調達70%ほどの構成



ハトメ



ホック



マジックテープ®

※ハトメ：靴・衣類などに紐を通す穴に取り付ける環状の金具



# 事業別詳細

## アパレル関連事業

〈取扱い商品例〉



ホック      マジックテープ®      ボタン



テープ      ハトメ・靴紐



自社ブランド製品

活用例

カジュアルウェア・シューズ  
 スポーツウェア・シューズ  
 作業服・シューズ  
 メディカルウェア、ベビーウェア  
 フォーマルウェア・シューズ  
 バッグ・アクセサリー  
 レディースウェア

## プロダクト関連事業

〈取扱い商品例〉



マジックテープ®      グリスフィルター      インソール



ストラップ      スケートボード・自社ブランド  
 スノーボード・サーフィン

活用例

インソール・シューケア商品  
 カメラ/PCケース・マウスパッド  
 等映像機器関連商品  
 サポーター、安全関連商品、教具・文具  
 スケートボード・サーフィン等  
 アクティブスポーツ関連商品  
 グリスフィルターレンタルサービス

## 輸送関連事業

〈取扱い商品例〉



ホック      マジックテープ®      ネット



エンブレム      トランク  
 フロアボード

活用例

自動車内装部品  
 鉄道・新幹線内装部品  
 航空機内装部品

# モリトの強み

---

## ● 流行に左右されない、生活必需品向けのビジネスが多数

日常生活に欠かせないもののパーツを扱っているため、流行・景気に左右されにくく、継続的に販売ができるビジネスが多数。

## ● ポートフォリオが分散して安定した業績

アパレル・プロダクト・輸送関連の3つの事業を柱に、ワールドワイドに事業を展開。オイルショックやリーマンショック、新型コロナウイルス感染拡大の影響などがあったとしても、赤字にならず安定した業績を維持。

## ● ニッチ分野をターゲットに、多彩なアイテムで高シェアをマーク

各業界分野でシェア率の高い商品多数。  
金属ホックは日本で1位、世界でも1位、2位を争う。

## ● 製造・調達・販売をグローバルに展開

自社拠点以外にも、協力工場や代理店が世界各地にあり、あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。

2

## 2025年11月期1Q 業績概要

---

# トップメッセージ

---

- 売上高・経常利益・純利益が四半期開示開始以来、過去最高を更新
- 売上総利益率水準の改善・維持への意識が社内に浸透、29%の高水準を維持
- ミツボシコーポレーション子会社化を実施、連結業績予想を上方修正  
PMIで収益性の改善へ
- アパレルを中心とした在庫調整は回復の兆し、  
米国関税により、今後米国自社アパレル製造工場への追い風を期待

## 2025年11月期1Q 通期業績サマリー

(百万円)	(参考) 2023	2024	2025	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	11,804	11,744	<b>12,161</b>	+417	+3.6%
売上総利益	3,232	3,378	<b>3,526</b>	+148	+4.4%
(%)	(27.4%)	(28.8%)	<b>(29.0%)</b>		
経費	2,613	2,715	<b>2,909</b>	+193	+7.1%
(%)	(22.1%)	(23.1%)	<b>(23.9%)</b>		
営業利益	619	662	<b>617</b>	-45	-6.8%
(%)	(5.2%)	(5.6%)	<b>(5.1%)</b>		
経常利益	661	669	<b>689</b>	+19	+2.9%
(%)	(5.6%)	(5.7%)	<b>(5.7%)</b>		
当期純利益	516	564	<b>601</b>	+36	+6.5%
(%)	(4.4%)	(4.8%)	<b>(4.9%)</b>		

※Ms.IDは2025.2Q、ミツボシコーポレーションは2025.3Qからの連結を予定しており、上記には含んでおらず。

## 2025年11月期 連結業績予想の上方修正について

ミツボシコーポレーションの子会社化を踏まえ、修正。ミツボシコーポレーションは2025年11月期3Qからの連結を予定しているため、6か月分の数字が含まれる。負ののれんが発生する見込みであるものの、金額を精査中のため下記には織り込まず。

(単位：百万円)

	2025年11月期 期首予想	2025年11月期 修正予想	増減	増減率
売上高	53,000	56,000	+3,000	5.7%
営業利益	3,100	3,200	+100	3.2%
(%)	5.8%	5.7%		
経常利益	3,200	3,300	+100	3.1%
(%)	6.0%	5.9%		
当期純利益	2,700	2,800	+100	3.7%
(%)	5.1%	5.0%		

## 2025年11月期1Q 計画進捗について

売上高は、Ms.ID・ミツボシコーポレーションの連結、アパレルを中心とした在庫調整回復を見込んでおり、今後順調な推移を予想。営業利益は、人件費等の経費増加によりややビハインド。

今後もM&A関連費用などを見込む。米国関税により米国自社工場などへの追い風を期待、今後も注視していく。

(単位：百万円)

	2025.1Q実績	2025 通期業績予想	進捗度
売上高	12,161	56,000	21.7%
営業利益	617	3,200	19.3%
(%)	5.1%	5.7%	
経常利益	689	3,300	20.9%
(%)	5.7%	5.9%	
当期純利益	601	2,800	21.5%
(%)	4.9%	5.0%	

## 2025年11月期1Q 前年同期比 主な変動要因

売上総利益率は高水準を維持。人件費など一部経費が増加。

	前年同期比	主な変動要因	
		(+)改善要因	(-)悪化要因
売上高	+417百万円 + 3.6%	(+)アパレルを中心とした国内の在庫調整に回復の兆し (-)一昨年の暖冬・在庫調整・物価高によりアクティブスポーツ 関連減少 (-)日系自動車メーカーの販売台数の減少	
売上総利益	+148百万円 + 4.4%	(+)売上総利益率水準の改善・維持への意識が社内に浸透 (-)アクティブスポーツ関連の減少	
営業利益	-45百万円 -6.8%	(+)売上総利益の改善 (-)人件費など経費の増加	
経常利益	+19百万円 + 2.9%	(+)為替差益による増加	
当期純利益	+36百万円 + 6.5%	(+)投資有価証券（政策保有株式）の売却等の増加	

# 2025年11月期1Q 売上高・売上総利益率の推移

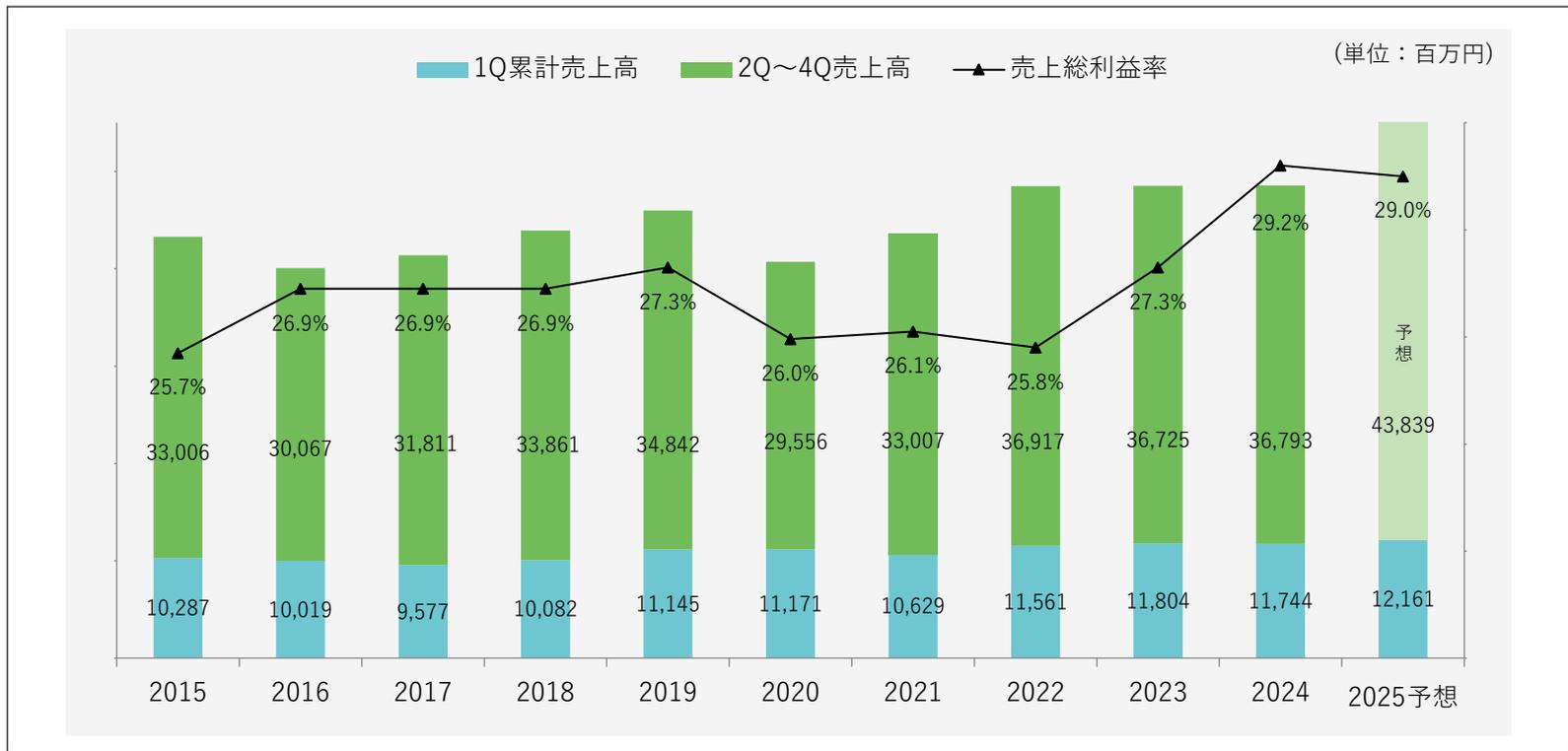
売上総利益率は前年同期比0.2%アップ。

## 【売上総利益率 プラス要因】

- ・売上総利益率水準の改善、維持への意識が社内に浸透
- ・アパレル関連事業の売上高回復

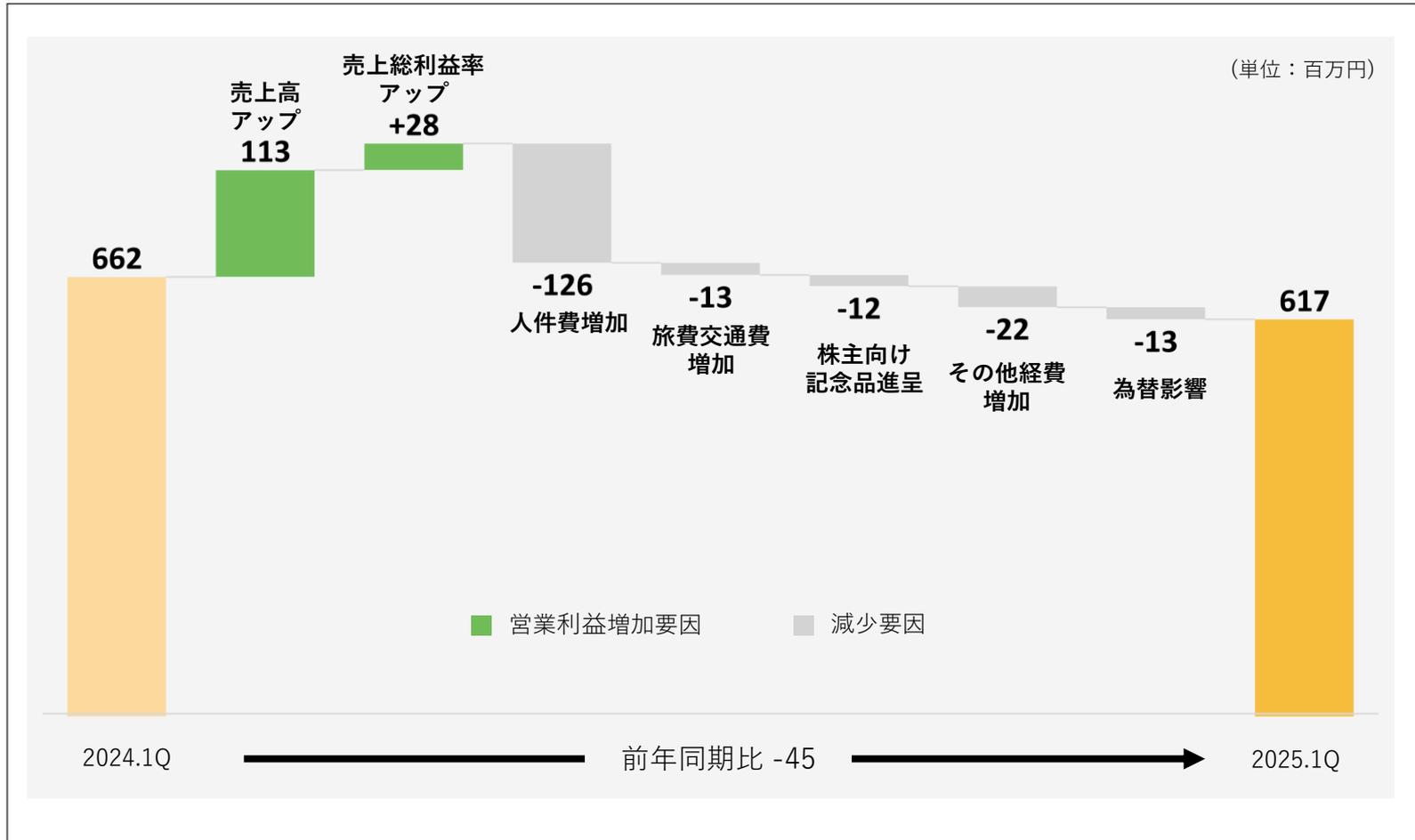
## 【売上総利益率 マイナス要因】

- ・アクティブスポーツ関連の売上減少



# 2025年11月期1Q 営業利益増減（前年同期比）

売上総利益の改善は寄与したものの、人件費・旅費交通費など経費の増加により減少。



# 2025年11月期1Q 連結貸借対照表

2025.1Qより連結貸借対照表にMs.IDを含む。取得に伴い、現預金が減少・棚卸資産等が増加。

(単位：百万円)

	2024	2025 1Q
<b>資産の部</b>		
流動資産	32,049	28,036 (- 4,013)
固定資産	20,427	24,689 (+4,262)
資産合計	52,476	52,726 (+249)

	2024	2025 1Q
<b>負債の部</b>		
流動負債	8,886	8,371 (- 515)
固定負債	4,313	4,514 (+200)
負債合計	13,200	12,885 (- 314)
<b>純資産の部</b>		
株主資本	33,129	32,721 (- 407)
その他の 包括利益累計額	6,147	7,119 (+971)
純資産合計	39,276	39,840 (+564)
負債純資産合計	52,476	52,726 (+249)

自己資本比率 2025/11期：75.6%  
(2024/11期：74.8%)

株式647,600株(-40,000株)

3

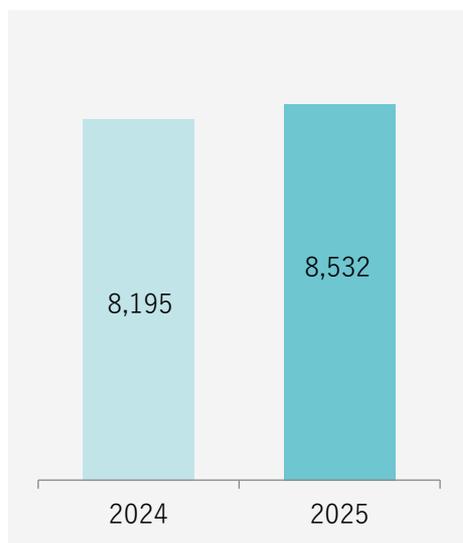
## 2025年11月期1Q セグメント情報

---

# 2025年11月期1Q 地域別売上高・外部環境

(単位：百万円)

日本  
売上構成比：70%

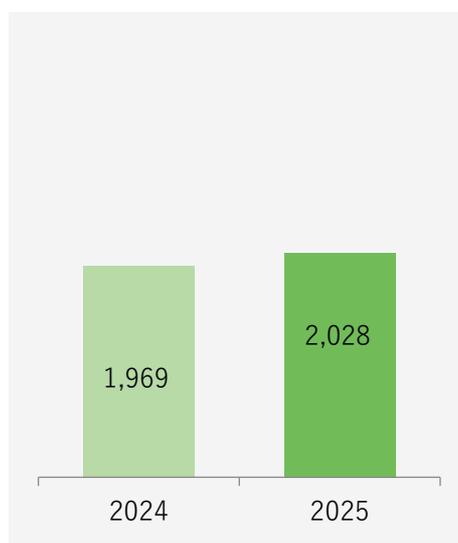


前年同期比 +337百万円  
(+4.1%)



在庫調整が回復の兆し

アジア  
売上構成比：17%

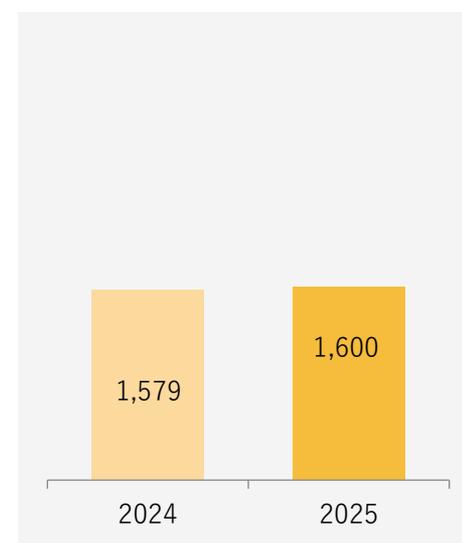


前年同期比 +58百万円  
(+3.0%)



欧米向け作業服向けの増加  
日系自動車メーカーの苦戦

欧米  
売上構成比：13%



前年同期比 +21百万円  
(+1.4%)

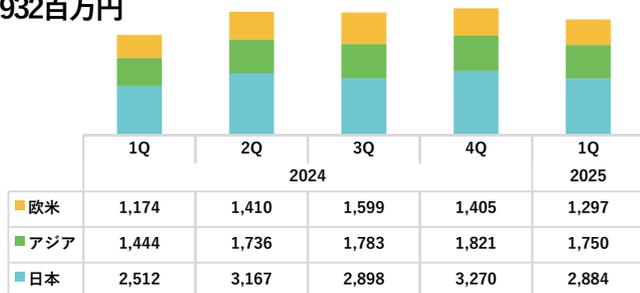


作業服向けが堅調

# 2025年11月期1Q 事業別売上高・コメント

	売上高	前年同期比	コメント
--	-----	-------	------

## アパレル関連事業 5,932百万円



+801百万円  
+15.6%

### 【日本】

(+)在庫調整にやや回復の兆し  
(+)欧米作業服、高級アウトドアブランド向け付属品、百貨店アパレル向け副資材の増加

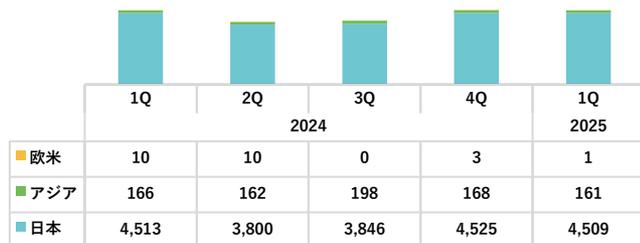
### 【アジア】

(-)中国・香港でのカジュアルウェアの減少  
(+)中国・香港での欧米向け作業服の増加  
(+)ベトナムでのスポーツシューズ向け付属品、作業服関連商品の増加

### 【欧米】

(+)作業服、メキシコでの革製品向け付属品の増加

## プロダクト関連事業 4,672百万円



-18百万円  
-0.4%

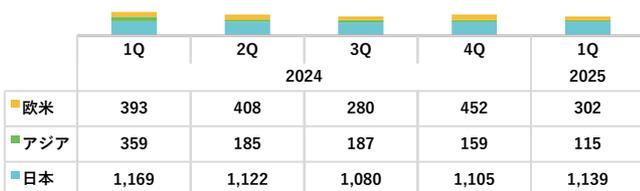
### 【日本】

(+)文具関連商品の増加

(+)厨房機器レンタル・販売・清掃事業の増加

(-)一昨年の暖冬・在庫調整・物価高によりスノーボード・スケートボード関連商品の減少

## 輸送関連事業 1,556百万円



-365百万円  
-19.0%

### 【日本】

(-)日系自動車メーカー向け自動車内装部品の減少

### 【アジア】

(-)中国での日系自動車メーカーの苦戦により減少

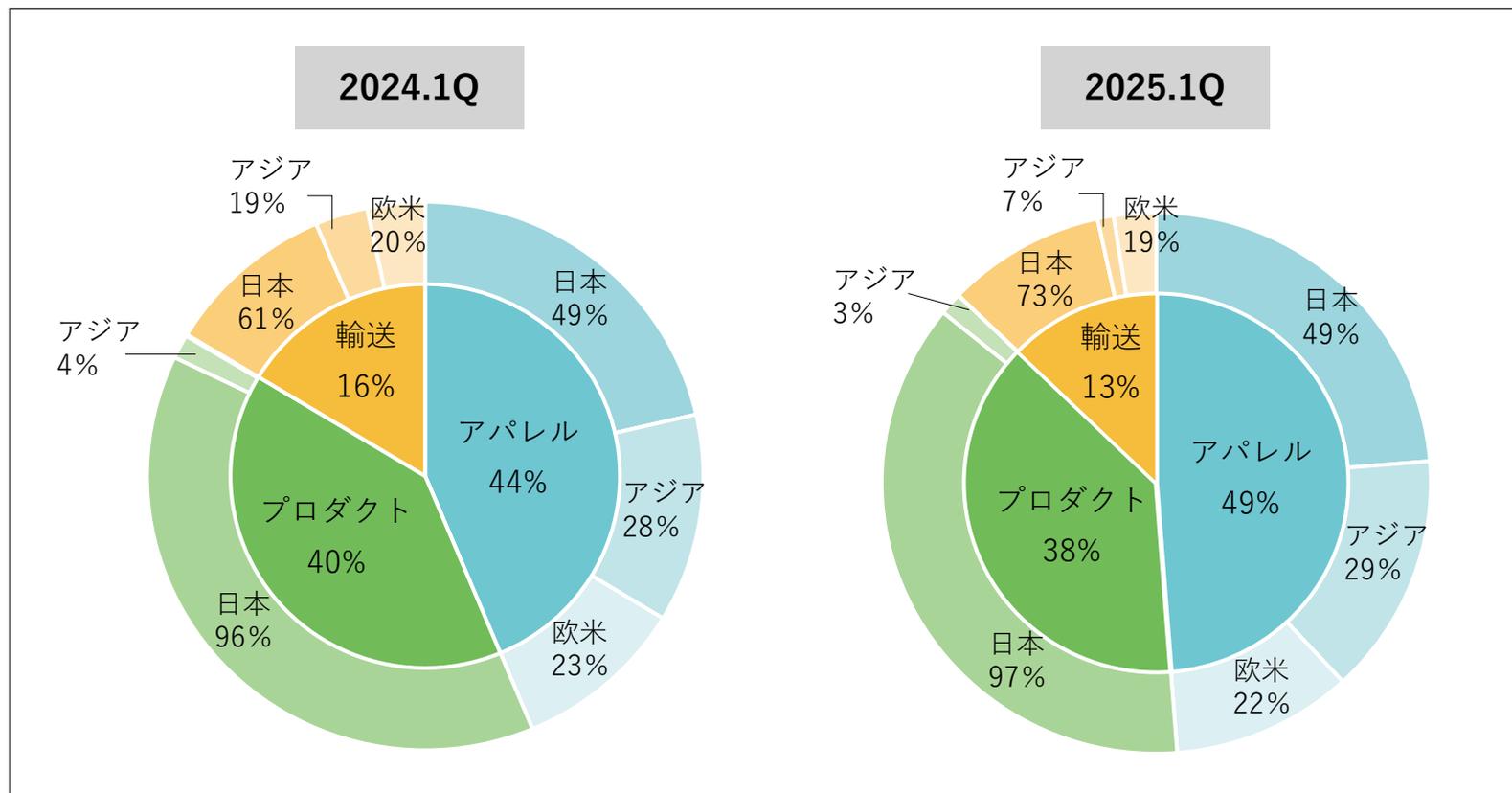
### 【欧米】

(+)北米での日系自動車メーカー向け自動車内装部品の増加

(-)欧州での事業撤退による効率化による減少

## (参考)2025年11月期1Q 地域別×事業別 売上構成

アパレル関連事業は日本がやや回復。輸送関連事業は北米は堅調なもの、中国が減少。米国関税により、今後米国自社アパレル製造工場へのプラス影響、輸送関連事業では日系自動車メーカーの生産数量の変動による影響を受ける可能性あり。



## (参考) 2025年11月期1Q セグメント別売上高

(単位：百万円)

2025 実績				
	1Q	構成比	増減額	増減率
日本	8,532	70.2%	+337	+4.1%
アジア	2,028	16.7%	+59	+3.0%
欧米	1,600	13.2%	+21	+1.3%
合計	12,161	100.0%	+417	+3.6%

2024 実績								
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	構成比	増減額	増減率
日本	8,195	8,090	7,825	8,900	33,012	68.0%	-1,058	-3.1%
アジア	1,969	2,084	2,169	2,149	8,372	17.2%	+667	+8.7%
欧米	1,579	1,829	1,881	1,861	7,151	14.7%	+398	+5.9%
合計	11,744	12,005	11,875	12,911	48,537	100.0%	+7	+0.02%

# 4

## 事業トピックス

---

# 第8次中期経営計画 M&A

## 株式会社ミツボシコーポレーション子会社化

ミツボシコーポレーションは、作業服・ユニフォーム業界を中心とした「服飾資材総合販売事業」を主に展開。この販売方法・商品のノウハウを獲得し、モリトグループのグローバルネットワークを掛け合わせることで、売上規模の拡大を見込む。



ミツボシコーポレーションは、服飾パーツに加え、生地・糸・ネーム・タグなどをアパレルメーカーへセット販売を行う



# 第8次中期経営計画 M&A

## 株式会社ミツボシコーポレーション数値情報

経費面での改善余地が大きく、PMIにおいて、利益体制の見直しを行う。

	株式会社ミツボシコーポレーション
事業内容	服飾資材総合販売事業、アパレル製品 生産管理事業、リサイクル事業
純資産	2,262 百万円
総資産	5,335 百万円
売上高	7,462 百万円
営業利益	66 百万円
経常利益	235 百万円
当期純利益	190 百万円

※2024年3月期実績

### 取得価額について

対象会社の普通株式	: 1,062百万円
アドバイザー費用等	: 25百万円
合計	: 1,087百万円

### 2025年11月期連結業績予想への影響

2025年11月期3Qからの連結を予定しているため、P10に記載の修正後の連結業績予想には、ミツボシコーポレーション6か月分の数字が含まれる。また、負ののれんの発生を見込んでいるものの、金額については現在協議中のため、確定次第、速やかに開示の予定。

## 環境への取り組み

### 「HELLY HANSEN × agnès b. 2025 FIBERPILE Collection」に採用

日本国内で回収された廃漁網を100%使用して作られた「MURON（ミューロン）」を使用した生地が「HELLY HANSEN × agnès b. 2025 FIBERPILE Collection」の製品の一部に採用されました。



▶ [商品の詳細はこちら](#)



MURONが採用されたアイテムの一部

## 株式会社マテックス・株式会社Ms.ID インバウンド需要により好調

株式会社マテックスが取り扱うホテル向けのスリッパの販売が増加。また、昨年子会社化した株式会社Ms.IDのブランド「TEN.」は、個性的なデザインと高品質な日本製で、アジアを中心とした外国人観光客に人気。台湾にも直営店を持つ。



アパレルブランドの下げ札・織ネーム、印刷物、企業・学校の販促物などに加え、ホテル向けのスリッパもマテックスでは取扱う

# TEN.

▶商品の詳細はこちら



## モリトの高付加価値商品 商品例紹介

顧客・消費者ニーズを叶える付加価値を加えたオリジナル商品を独自に開発し、高機能・高品質を求められる顧客の採用を獲得。定番商品よりも利益率が高い商品群。



### 商品名：らくらく感

フォーマルウェア、ユニフォーム等のボトムスのファスナーの上に使われる「前カン」とバネを組み合わせた商品。

食事後など腹部のサイズが変わると、バネの力で自然に伸縮し、圧迫感を軽減。

### 商品名：テープスナッパー

樹脂ホックとテープが一体になっている商品。顧客の縫製工場で樹脂ホックを取り付ける工程を省き、テープを生地に縫製するだけで済むため、工場での設備投資が不要。外れるリスクが少なく、安心安全で、ベビー・キッズ向けブランドに人気。



## (参考)メディア掲載情報

---

- マテックスのリサイクルペーパーASUKAMI®が  
神戸須磨シーワールドのイベントに採用、NHK兵庫 NEWS WEBに掲載  
<https://t.co/qM6NZ3SKSR?ssr=true>
- 「HELLY HANSEN × agnès b. 2025 FIBERPILE Collection」 にMURONが  
採用、Yahoo!ニュース等に掲載  
<https://news.yahoo.co.jp/articles/9325c9d3e0a2eb0682a95adbd1c29143006b703f>
- アイススパイクが関西テレビ「旬感LIVEとれたてっ！」にて紹介  
商品詳細：<https://store.shopping.yahoo.co.jp/morito/ice-spike.html>
- スタッドレスバンド®が日本テレビ「ZIP！」にて紹介  
商品詳細：<https://store.shopping.yahoo.co.jp/morito/studless-band.html/>

# 5

## 株主還元策

---

# 利益配分に関する基本方針

株主に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつと位置付け、投資案件および財務状況（純資産等）を勘案の上、下記の方針に基づき、配当額を決定。

安定的かつ継続的  
配当の実現

機動的な自己株式取得および適切な消却の実施を引き続き検討

親会社株主に帰属する  
当期純利益に対する

配当性向は  
50%以上を  
基準

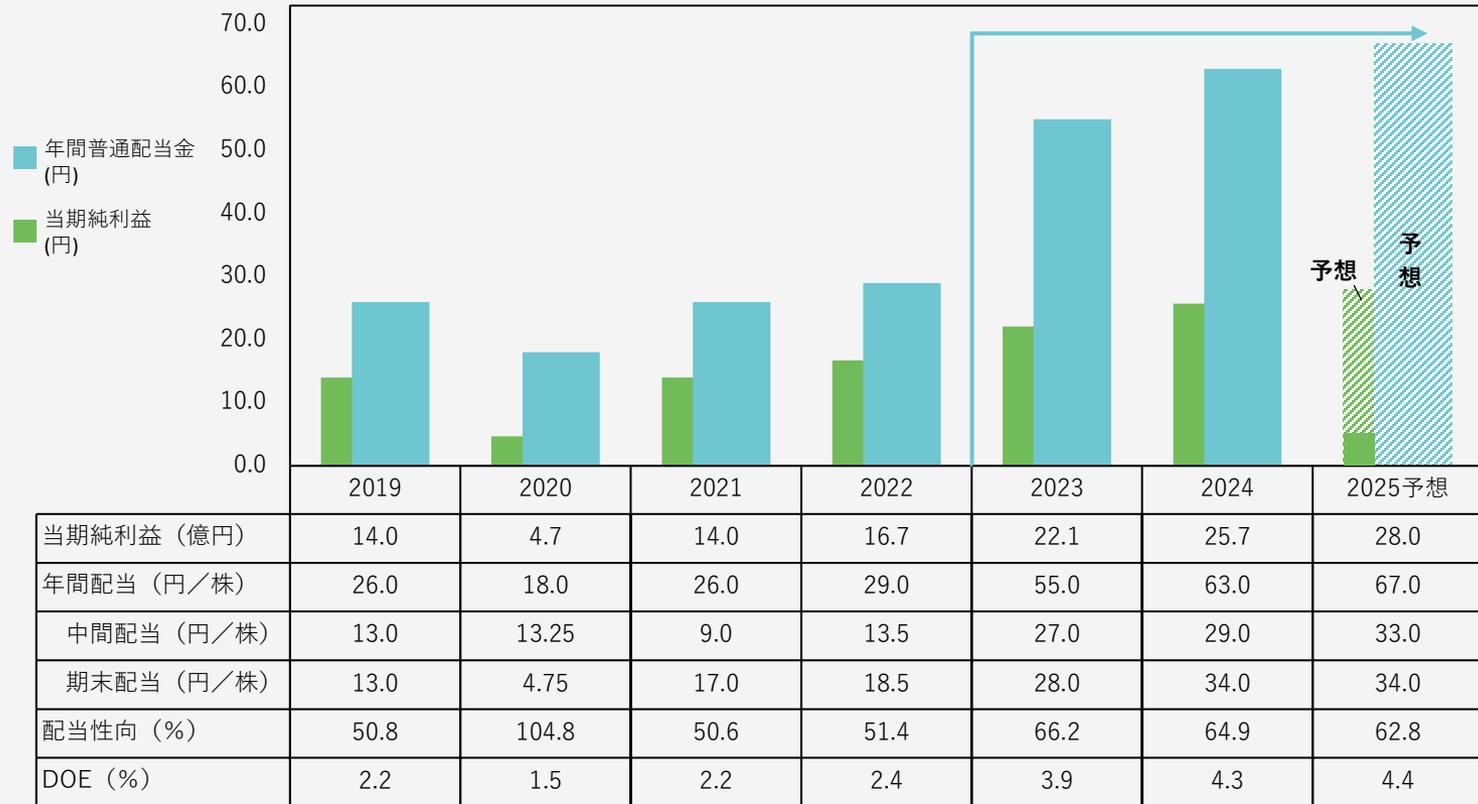
連結自己資本配当率

DOE 4.0%  
基準

※ただし、特別な損益等の特殊要因により税引後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度についてはその影響を考慮し配当額を決定します。

# 配当金・配当性向・DOEの推移

2023年11月期より、利益配分に関する基本方針を変更



# 6

## (参考) 第8次中期経営計画

---

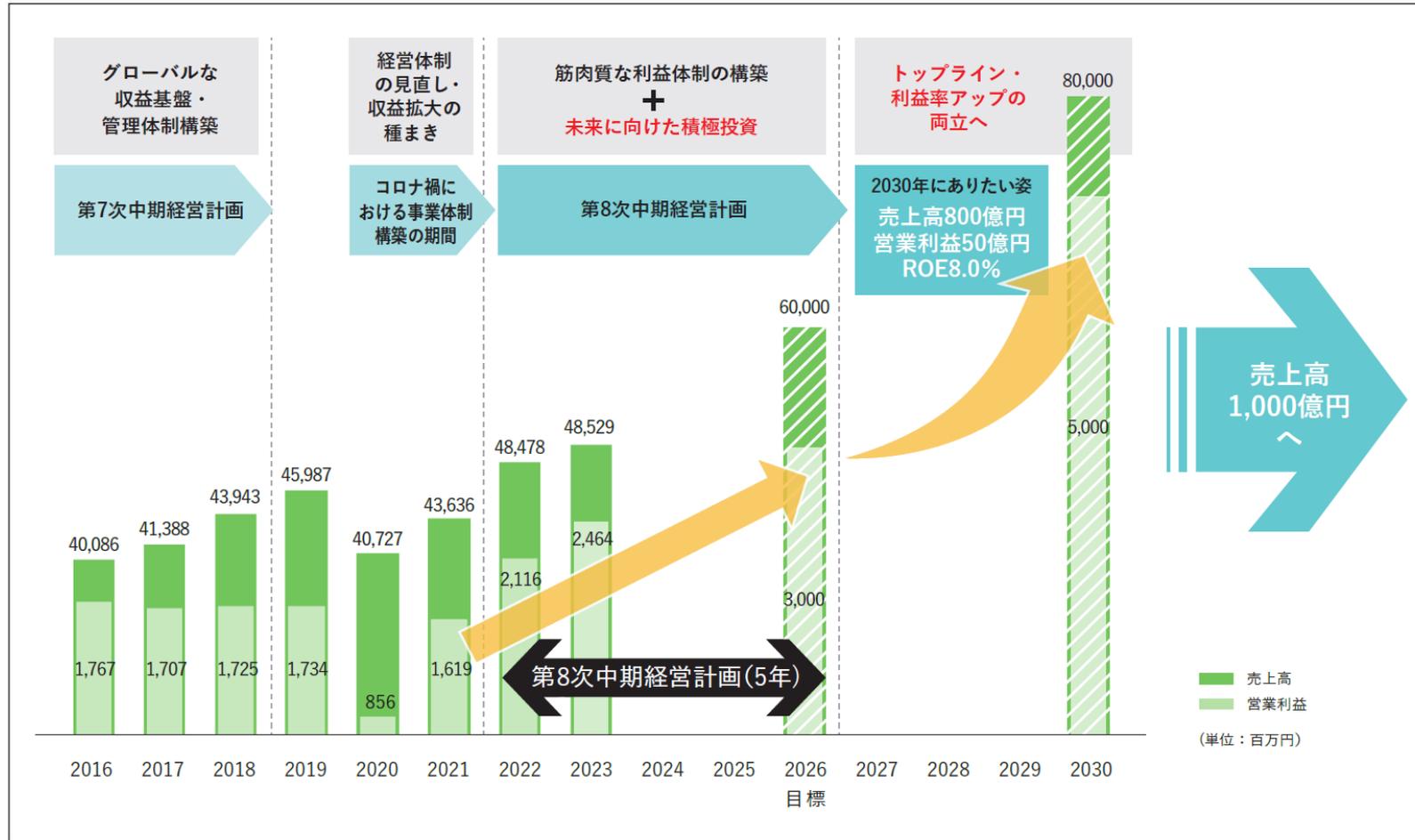
## 中長期方針 モリトが目指す姿

---

小さなパーツで世界を変え続ける  
グローバルニッチトップ企業

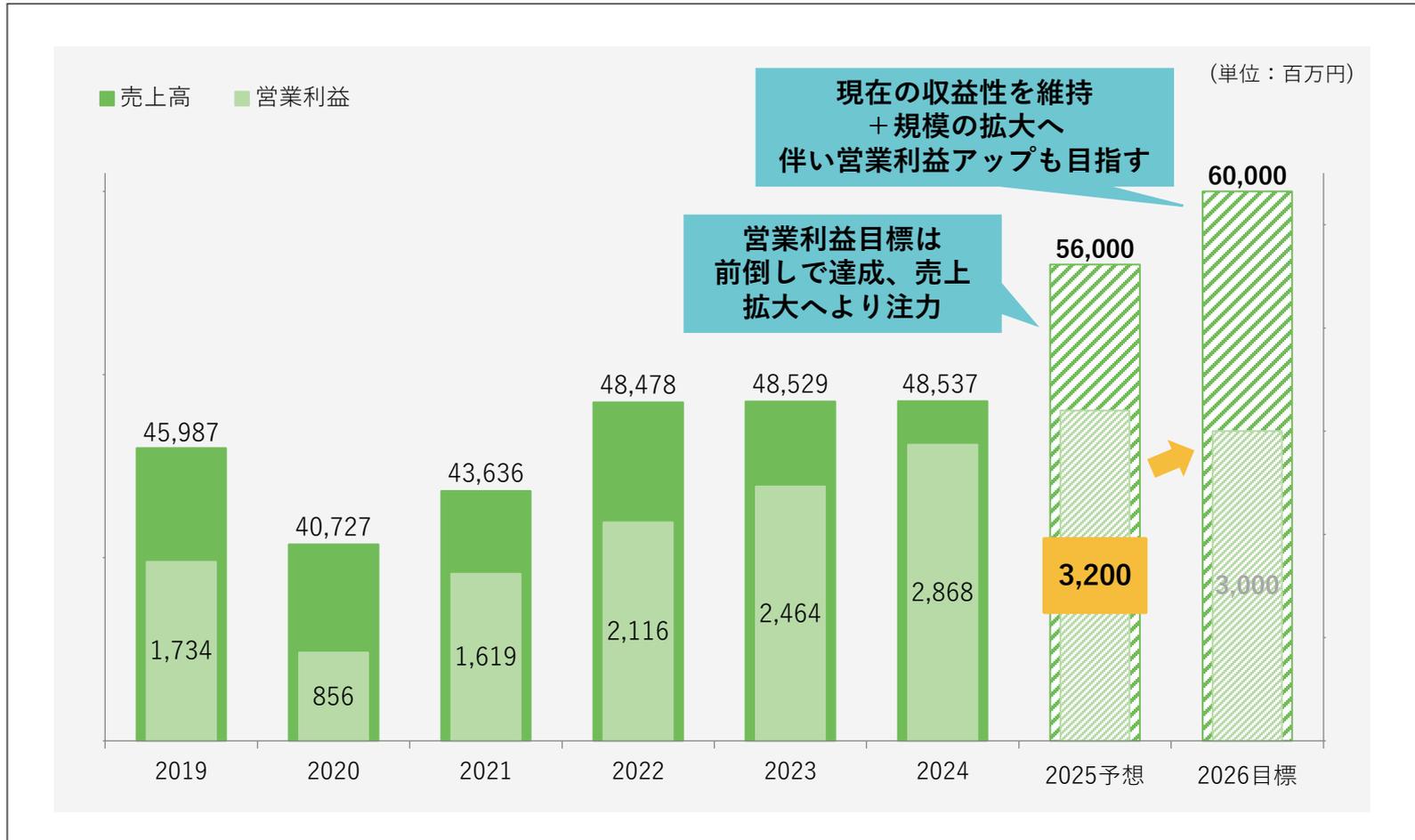
# 第8次中期経営計画 長期目標売上高1,000億円に向けて

収益性は維持しつつ、売上規模の拡大を目指した取り組み・積極投資を実施していく。

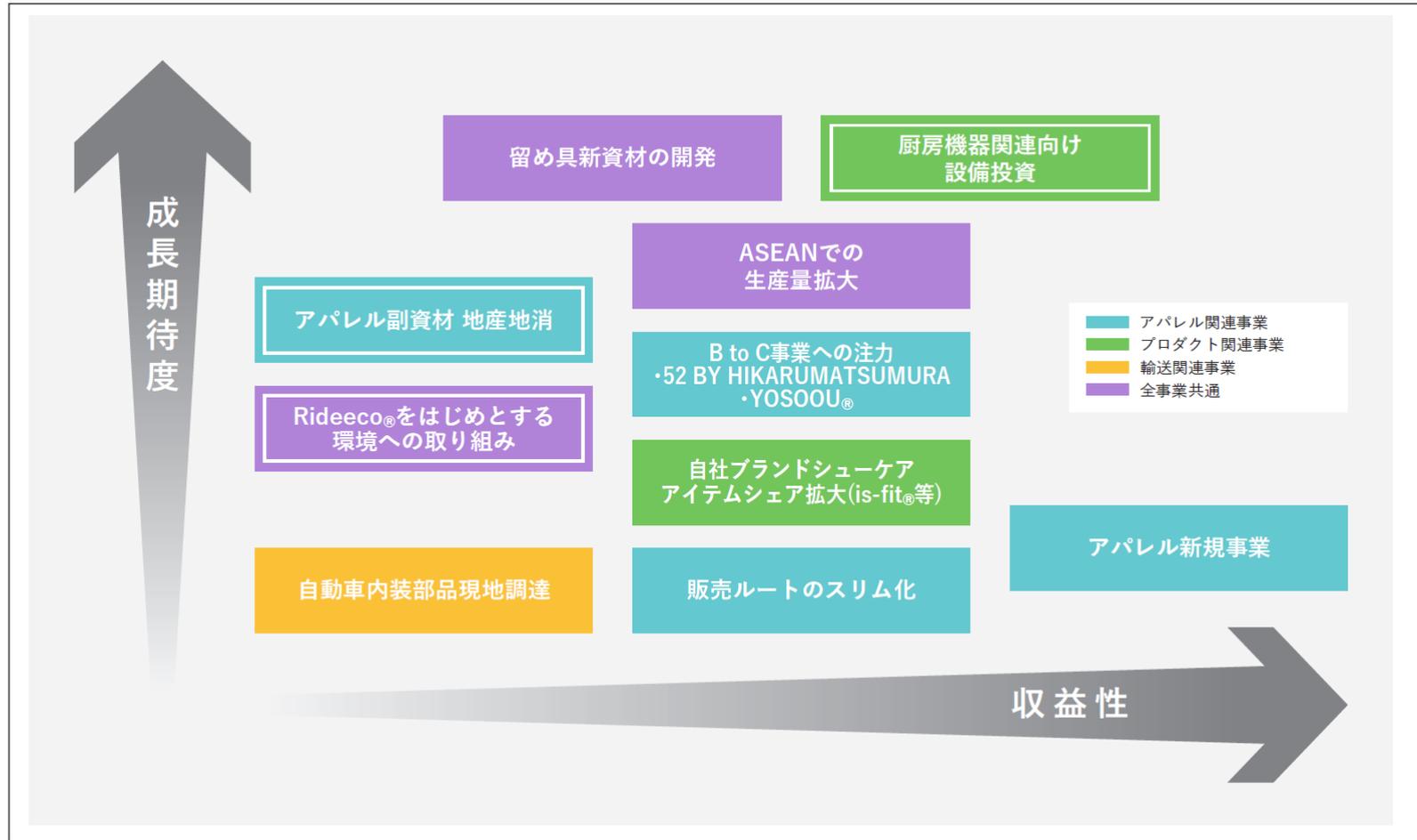


## 第8次中期経営計画の進捗 【財務数値目標】

2025年11月期に営業利益目標は前倒しで達成を見込む、売上高600億円を目指し中計の戦略を遂行。



# 第8次中期経営計画 達成に向けた成長戦略の全体図



# 本資料のお取扱いについて

---

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先      〒541-0054 大阪市中央区南本町4-2-4  
モリト株式会社 IR・広報部          E-mail : ir@morito.co.jp

# MORITO

あたりまえに、新しさ。